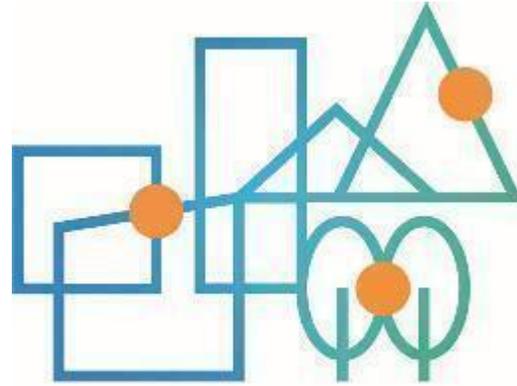


脱炭素先行地域事業 進捗報告

千葉開府 900年



千の葉に 時を刻んで 900年



脱炭素先行地域
千葉市



千葉市脱炭素キャラクター
Iコ葉

2025年7月10日 (木)

- 「行きたい」「住みたい」「安心できる」千葉市を実現するため、2つのエリアと市有施設や一部のコンビニ等の施設群を先行地域として設定しました。

① グリーン・MICEエリア

(都市エリア 幕張新都心)

- 「幕張メッセ」、「ZOZOマリンスタジアム」、「イオンモール幕張新都心」など、日本有数のMICE施設や商業施設を対象として構成されるエリア
- MICE施設の脱炭素化やナッジを活用した行動変容施策等により、脱炭素ブランディングを確立し、国際会議等の更なる誘致により交流人口を増加

② グリーン・ZOOエリア

(自然エリア 動物公園周辺)

- 「動物公園」、千葉都市モルールの「動物公園駅舎」と新築のZEH住宅で構成されるエリア
- 「公園・交通・住宅」という住環境一体で脱炭素化に取り組み、住民生活の質の向上を実現
- 脱炭素化された住環境を提供する本市のシンボリックな存在とし、他エリアに波及させることで定住人口を増加

③ グリーン・レジリエント・コミュニティ

(施設群 市内全域の公共施設、一部のコンビニ等)

- 公共施設及びコンビニなど地域に密着した施設が対象
- 再エネの地産地消や脱炭素に向けた行動変容の取組を実施することで、市民参画を促すとともに、啓発活動を推進し、脱炭素への理解や関心を深める。加えて、災害時のレジリエンスを強化

① グリーン・MICEエリア

施設・イベント等の脱炭素化

- ✓幕張メッセのLED化
→R6 = 360台のLED照明を設置
R7年度以降も順次、設置を拡大予定
- ✓MICE脱炭素化に対する支援
→ R6補助金採択 = 4件



©Japan Drone / 次世代エアモビリティEXPO 2024会場写真

行動変容の促進

- ✓市内イベントにおいて、バイオマス燃料として活用するための割りばし回収を実施

<R6年実施イベント（全4回）>

- ・第49回千葉の親子三代夏祭り（8月）
- ・X Games Chiba 2024（9月）
- ・ジェフユナイテッド市原・千葉 SDGsイベント（9月）
- ・第32回稲毛区民祭り（10月）

割りばし回収の様子及び回収ボックス



②グリーン・ZOOエリア

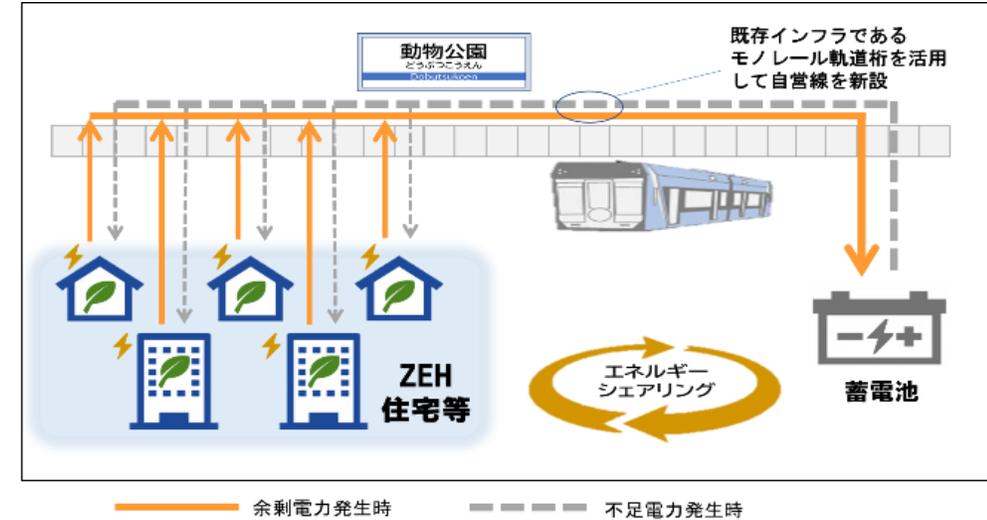
🏠 エネルギーシェアリングタウンの整備

- ✓R10年度の完成を目指し、
開発許可手続・埋蔵文化財調査等を実施中

🌳 動物公園での取組み

- ✓太陽光発電設備・蓄電池の導入
→R6 = 太陽光発電:14.4kW、蓄電池:16.4kWh
動物公園（管理棟）に導入
- ✓バイオマス熱ボイラーの導入
→R6 = 事業者選定
R6～R8年度で設計・設備導入（DB方式）

エネルギーシェアリングタウン イメージ図



③ グリーン・レジリエント・コミュニティ

市有施設への太陽光発電設備・蓄電池の導入

- ✓ R6 = 太陽光発電: 2,202kW、蓄電池: 131kWh
※オンサイトPPAにて、市有施設9か所に導入
- ✓ 上記PVのうち南部浄化センター = 1,690kW
※野立て型、屋根置き型、カーポート型の3種類の設備
- ✓ R7年度以降も、設置可能な市有施設に導入を進める



営農型太陽光発電設備の導入

- ✓ R6 = 555kW
※オフサイトPPAにて導入
- ✓ R7・8年度の追加導入に向けて調査・設計を実施中



公用車のEV化、EV充電器の導入

- ✓ R6 = 電動車を54台導入 (公用車)
- ✓ R7 = EV充電器27台導入予定
※本庁舎における公用車用として

③ グリーン・レジリエント・コミュニティ

エネルギー管理システムの導入

✓ R6～R7年度でシステム構築、**R8年4月運用開始予定**

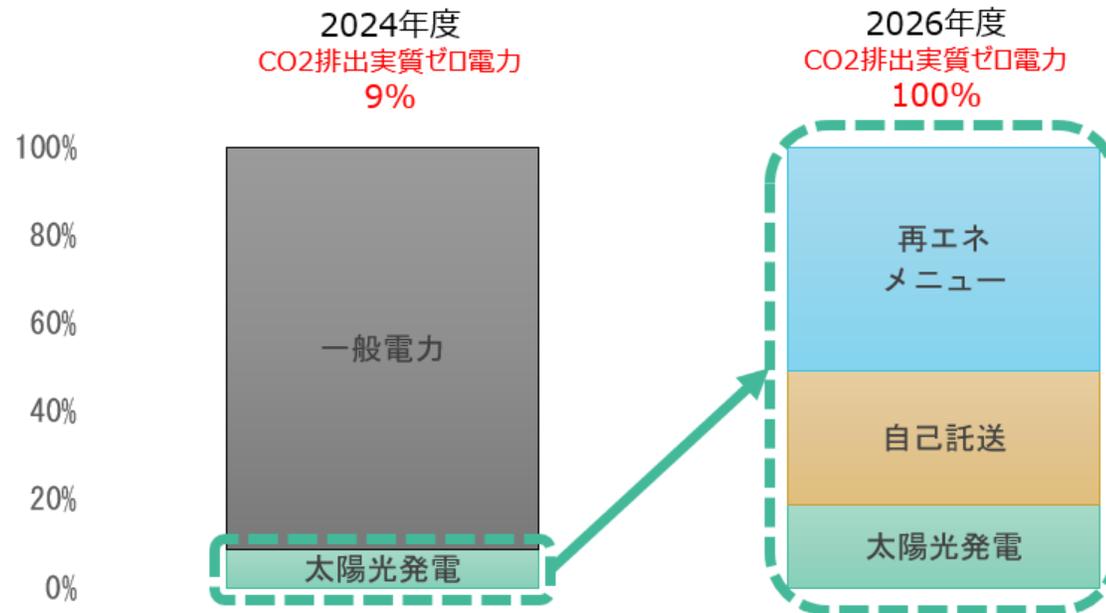


- ・ 市有施設全体の電力需要量と、太陽光発電や廃棄物発電における発電量を一元管理するシステム
- ・ 清掃工場の廃棄物発電を市有施設に送電（自己託送）するために、太陽光発電量や各施設の需要量をリアルタイムで把握・予測し、翌日の発電・需要計画（30分単位）を自動で策定

③ グリーン・レジリエント・コミュニティ

市有施設の使用電力のゼロカーボン化

- ✓ 現在契約している電力を、2026年度から太陽光発電、清掃工場廃棄物発電電力の自己託送、再生可能エネルギーで発電した電力メニューに切り替え、CO2排出実質ゼロ電力100%を達成します。
- ✓ 自己託送等により小売電気事業者への電気料金支出が減ることから、電力コスト削減効果を見込んでいます。



※清掃工場で発電した電力のうち、清掃工場使用量および清掃工場から自営線で供給している分については除外

- 令和6年度脱炭素先行地域中間評価において、特筆すべき取組事例（令和8年度をめぐりに脱炭素先行地域の概ねの実現が見込まれる選定自治体）として評価を受けました。
- 令和7年1月に浅尾環境大臣が本市を訪問
 - ➡市有施設の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを2026年度に達成することについて、「政府の目標値を上回るかなり先行した取組み。他自治体の模範となってほしい。」と評価いただきました。

